

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年10月23日(2014.10.23)

【公開番号】特開2014-77800(P2014-77800A)

【公開日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2014-022

【出願番号】特願2013-266785(P2013-266785)

【国際特許分類】

G 04 R 20/26 (2013.01)

G 04 G 99/00 (2010.01)

【F I】

G 04 R 20/26

G 04 G 1/00 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月4日(2014.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上記目的を達成するため、

外部機器と近距離無線通信を行う電子時計において、

時刻情報等の情報を表示する表示手段と、

アンテナを介して前記外部機器と近距離無線通信を行う通信手段と、

前記電子時計本体の傾く動きを検出する傾斜検出手段と、

ユーザの操作を検出する操作検出手段と、

前記傾斜検出手段又は前記操作検出手段により検出されたか否かを判別する判別手段と

前記判別手段によりいずれかが検出された場合に、前記通信手段の電源をオンにする電源制御手段と、

を備えていることを特徴とする電子時計である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

「パワーセービング解除処理」が開始されると、CPU41は先ず、ブルートゥースモジュール48の電源がオフ状態であること、時計表示がオフ状態であること確認する(ステップS21)。次に、CPU41は、傾斜センサ60による時計本体の傾く動き又は使用者によるキー入力(スイッチ部44の入力)が検出されたか判別する(ステップS22)。ステップS22にて、傾斜センサ60による時計本体の動きおよび使用者によるキー入力のいずれも検出されなかったと判別されたときは、「NO」へ分岐して、ステップS21に戻る。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部機器と近距離無線通信を行う電子時計において、
時刻情報等の情報を表示する表示手段と、
アンテナを介して前記外部機器と近距離無線通信を行う通信手段と、
前記電子時計本体の傾く動きを検出する傾斜検出手段と、
ユーザの操作を検出する操作検出手段と、
前記傾斜検出手段又は前記操作検出手段により検出されたか否かを判別する判別手段と

前記判別手段によりいずれかが検出された場合に、前記通信手段の電源をオンにする電源制御手段と、
を備えていることを特徴とする電子時計。

【請求項2】

前記電源制御手段は、
前記通信手段の電源をオンするとともに、前記表示手段の表示をオンすることを特徴とする請求項1記載の電子時計。

【請求項3】

前記通信手段の電源がオフの状態であり、且つ前記表示手段の表示がオフの状態である場合に、前記判別手段は判別することを特徴とする請求項1又は2に記載の電子時計。

【請求項4】

前記傾斜検出手段は、
前記電子時計の表示面の縦軸方向について前記電子時計本体の傾く動きを検出することを特徴とする請求項1～3のいずれか一項に記載の電子時計。